

10.2. 災害学習情報

地震発生時の避難に関する情報として、以下のような内容を災害学習情報として掲載した。

- ・ 震度の目安
- ・ わが家の地震防災チェック
- ・ 地震発生時の心得
- ・ 避難時（地震）の心得

■ 震度の目安 (気象庁震度階級)

Actions for different magnitude levels (Meteorological agency magnitude scale)
 地震規模の大致標準 (気象庁地震分級方法) 震度 기준 (기상청의 진도계 기준)

- 震度 0 人は揺れを感じない。 震度 1 わずかな揺れを感じる。 震度 2 屋内にいる人の多くが揺れを感じる。 震度 3 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。



震度 4

つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音をたてる。かなりの恐怖感がある。



震度 5

多くの人が身の安全を図ろうとする。棚りの悪い置物の多くが倒れ、窓ガラスが割れることがある。



震度 5+

非常な恐怖を感じる。補強されていないブロック塀の多くが崩れる。



震度 6

立っていることが困難になる。かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。



震度 6+

耐震性の低い住宅が倒壊する。耐震性の高い住宅でも壁や柱が破壊するものがある。



震度 7

耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。地すべり等で地形が変わることもある。

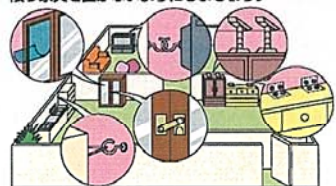
■ わが家の地震防災チェック!

Check your home for earthquake safety 自家地震防災検査 우리집의 지진방재 점검

■ 室内の点検

Interior inspection 室内検査포인트 실내 점검

地震に備えて、家具転倒防止器具を取り付けたり、食器棚等のガラス戸が割れて散乱しないよう、飛散防止フィルムを貼りましょう。また、子どもやお年寄りのいる部屋等には、できる限り家具を置かないようにしましょう。



■ 屋外の点検

Exterior inspection 室外検査포인트 옥외 점검

基礎のしっかりしていないもの、また、鉄筋の入っていないブロック塀、石垣等は崩れないよう補強しておきましょう。不安定なアンテナや屋根瓦のゆるみ等は修理し、ガスボンベは鎖で固定しましょう。



■ 地震発生時の心得

Actions to take during earthquakes 地震発生時須知 지진 발생시의 태도

まず火を止め、落下物などから身を隠しましょう。地震がおさまったら近所の人たちと協力して、火災を消し、ケガ人を救出しましょう。First, extinguish all fires and take refuge from falling objects. After an earthquake strikes, help the people in your neighborhood extinguish fires and rescue injured people. 先將火熄滅，需靜好以防止被落下的東西砸傷。地震稍靜平息後，與鄰居們相互幫助，撲滅火災，救助傷員。먼저 불을 끄고 떨어지는 물건 등에서 몸을 보호해 주십시오. 지진이 멈추면 이웃 사람들과 협조하여 화재를 끄고 부상자를 구출하여 주십시오.



1 近くにあるテーブルや机の下に身をかくしましょう。



2 ガス器具等の火を止め、元栓を閉めます。電気のブレーカーを止めます。



3 玄関を開け、脱出口を確保します。おわてて飛び出すと危険です。



4 火事の発生を大声で隣近所に知らせるとともに消火に努めましょう。



5 デマ等に振り回されずに、正しい情報をキャッチしましょう。



6 安否をお互いに確認し、首で協力して助け合い、ケガ人の応急手当をしましょう。

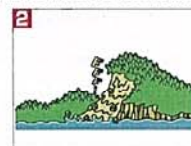
■ 避難時(地震)の心得

Actions to take when evacuating after earthquakes (地震時)避難須知 피난시(지진)의 태도

看板などの落下物や余震によるけがれなどをさけて、なるべく広い道を歩いて避難しましょう。大きな荷物を持つたり、車での避難はやめましょう。Avoid falling objects, such as signs, and landslides caused by aftershocks. Walk to the largest nearby road. Avoid carrying an excessive amount of supplies or evacuating by car. 看板など落下物や余震によるけがれなどをさけて、なるべく広い道を歩いて避難しましょう。大きな荷物を持つたり、車での避難はやめましょう。 地震発生直後の大群行進，注意不要物落下の危険を回避せよ，歩道利用を原則とする。地震発生直後の大群行進，注意不要物落下の危険を回避せよ，歩道利用を原則とする。 地震発生直後の大群行進，注意不要物落下の危険を回避せよ，歩道利用を原則とする。 地震発生直後の大群行進，注意不要物落下の危険を回避せよ，歩道利用を原則とする。



1 狭い路地や川べりは避け、落下物や倒れやすい噴等に注意して避難。



2 がけ・山は崩れることがあります。異常を感じたらすばやく避難しましょう。



3 荷物は少なくし、なるべく広い道を、みんなで歩いて避難しましょう。